

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策(松江市全体～中学校・義務教育学校後期課程)

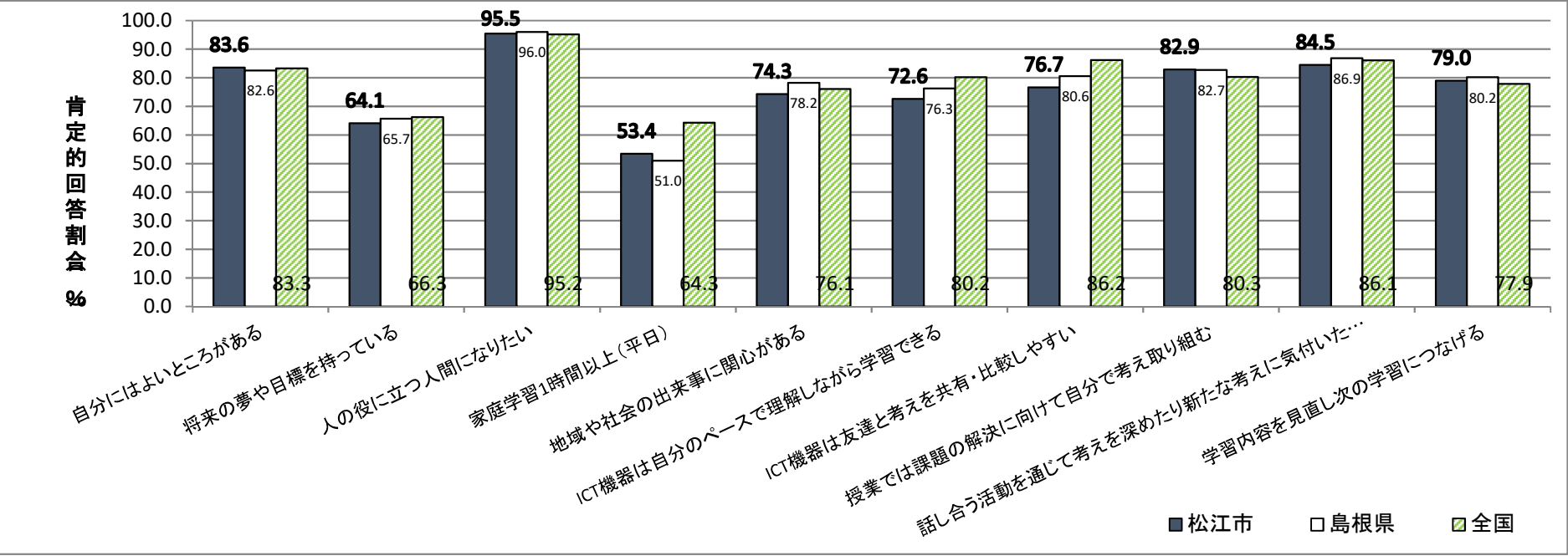
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
国語	○正しい漢字を書くことや短歌の表現技法の理解、行書の特徴など、言語文化に関する知識・技能。 ●話し合いの中で、話題や展開を捉えながら、自分の意見を他者の意見と結び付けながら考えをまとめること。 ●自分の考えがより伝わりやすくなるように表現の効果を考えて描写するなど工夫をすること。	・漢字の読み書きや言語文化についての知識・技能の定着が見られることを受けて、それを生かしながら以下の①②③の点を大切にして、記録・説明・要約・論述・話し合いなどの言語活動を取り入れる。 ※下記参照 ①話し合い活動の中で、常に話題を意識し、他者の意見と結び付けながら自分の考えをまとめていくこと。 ②自分の意見を書き表すときに、より伝わりやすくなるような表現の効果を考え、描写のしかたを意識しながら文章を書いていくこと。 ③要約を行う際に、目的に応じて必要な情報が取り入れられているかどうかを意識しながらまとめていくこと。
数学	○移動前と移動後の2つの図形の関係に着目して、図形の移動の特徴を的確に捉えること。 ●事象における数量やその関係を文字を用いた式で表すことや、一次関数の式やグラフで表すこと。また、それらを数学的に解釈し処理すること。 ●問題解決の方法やその過程、また事柄が成り立つ理由を、数学的な表現を用いて説明すること。(無解答率も高い。)	・数学的に考察する場面において、数学的な見方や考え方を働かせ、ある事柄が成り立つ根拠を数学的な表現を用いて自分で記述したり、類題や発展問題に取り組む際に、問題解決の過程を他者に伝え合ったりする学習を充実させる。 ・授業で学んだことを次の新たな学習に活用することや、日常生活の中から学習課題を設定し、数学的に表現・処理して問題を解決する学習を充実させる。

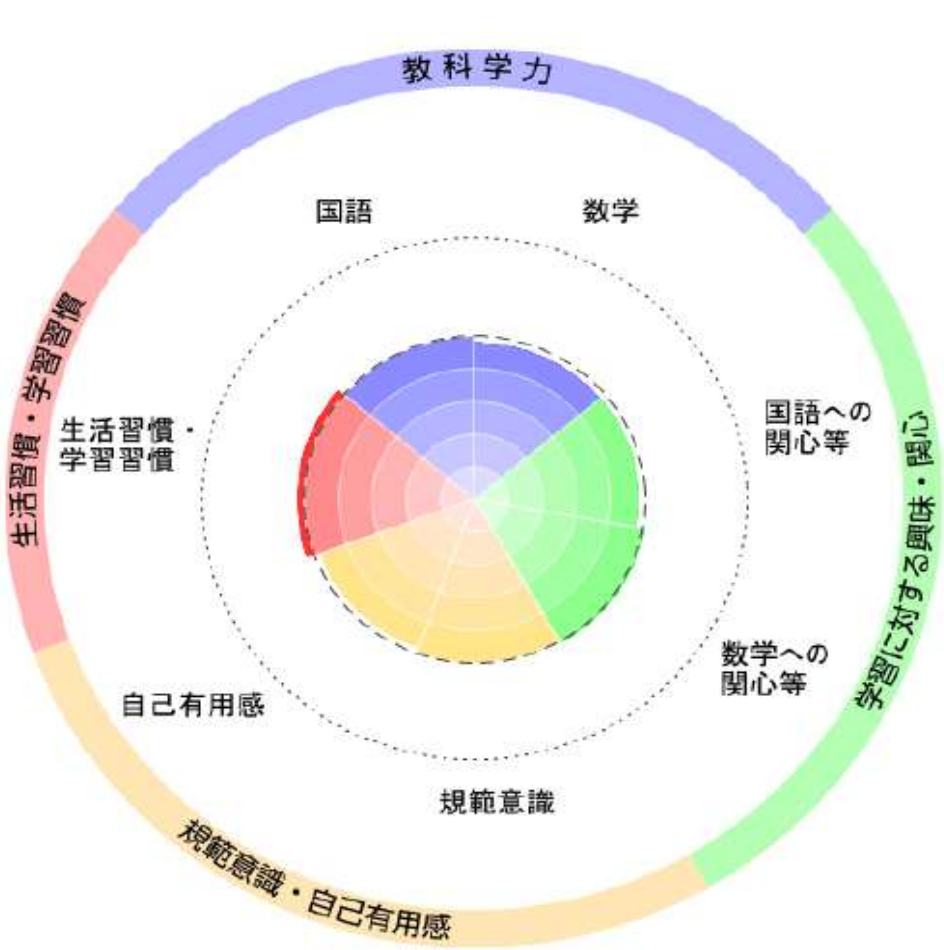
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
質問紙	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる生徒が多い。 ○授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒が多い。 ●ICT機器を学習で使用する頻度が全国平均を下回っており、かつICT機器を活用する良さを実感している生徒が少ない。	・探究的な学習において、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような学習課題を設定したり、ICT機器を効果的に活用するような授業展開を工夫したりする。 ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができるなど、ICT機器活用の良さを生徒が実感できるよう授業や家庭学習で自分に合った学び方を選択できるようにする。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【参考】平均正答率(%)

	松江市	島根県	全国
国語	58	57	58.1
数学	51	49	52.5

【受検者数】 1,549 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。